

次世代の語り部が戦争の悲惨さを伝えます

次世代の語り部 定期講話会のご案内



講話の様子

実施日時

令和8年 4月 12日（日） 13:00~14:00

講話内容

講話1：「おじちゃんの腕、へんなんだよ」

両腕を失い、片眼も失明してしまった戦傷病者の話をします。両腕は義手を使わずに自分の感覚で動かせる手術を受けましたが、見た目が特殊であり、差別を受けることがありました。家族との思い出や同じ境遇の仲間との絆などを糧に、強く生き抜いてきた姿を紹介します。

講話2：「ひめゆりの悲劇」

ひめゆり学徒隊として医療活動に従事し、敵からの攻撃により左足を受傷して、戦後は傷の痛みを抱えながら教師として働いた方の話をします。

会場

しょうけい館 シアター

（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階） ※詳しくは裏面をご参照ください。

「次世代の語り部」のご紹介

次世代の語り部事業について

- 戦後80年が経過し、戦争体験者の高齢化が進み、体験を語ることができる人がますます少なくなっています。そのため、戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世に語り継いでいく必要があります。
- 当館では、2019年度から戦後世代を対象に、これら戦中・戦後の労苦を次世代に語り伝えてゆく「戦中・戦後の労苦を伝える次世代の語り部事業」を実施しています。

定期講話会について

- 毎月1回、第2日曜日13:00～14:00に来館者に向けて定期講話会を実施しています。予約不要、入退室自由です。お気軽にご参加ください。

語り部について

- 語り部は、当館で3年間の研修を修了された20代～70代の方々です。この方々ご自身は戦争や戦傷病者としての体験はありません。

講話内容

- 講話内容は、「戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦」についてです。
- しょうけい館では、約200人の方々の証言を映像に収録してきました。この証言者の体験を中心に当時の社会状況などを織りまぜながら、写真やパネルを使って講話をおこないます。

アクセス

- 地下鉄をご利用の場合
 - ・東京メトロ「九段下駅（東西線・半蔵門線）」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
 - ・都営地下鉄「九段下駅（新宿線）」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
- バスをご利用の場合
 - ・都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
 - ・千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」より徒歩5分



お問い合わせ先

しょうけい館（戦傷病者史料館）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階

TEL：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826

Email：yoyaku@shokeikan.go.jp